

「科学技術を支える人材の育成・養成」に係る 平成25年度の主な事業実績について

科学技術の振興を通して、地域で新しい価値を生み出し、産業を興し続けるには、将来の研究開発や産業を支える人材の裾野を広げていく必要がある。

これに対し、県では、科学教育に関係する様々な機関等と連携しながら、子どもから若者まで、切れ目なく、その発達段階に応じた科学技術に関する理解と関心を高めていく機会の充実を図る取組みを実施している。

また、実際の研究開発を担う優秀な研究者・技術者の人材育成や研究意欲の維持・向上を促進する取組みを展開している。

平成25年度の主な事業実績は、下記のとおりである。

(1) 地域の産業や自然を活かした多彩な科学教育の推進

○ 科学教育関係機関の連携会議の開催

県内における体系的・継続的な子どもたちの科学体験学習機会の提供、科学体験学習環境の向上・充実を図るため、県内の科学教育に関係する機関・団体等による会議を開催した。

- ・日 時：平成25年5月21日（火）
- ・場 所：山形県総合研修センター
- ・参集機関：下表のとおり

山形大学	山形県サイエンス・ナビゲーター（個人）
鶴岡工業高等専門学校	やまがた「科学の花咲く」プロジェクトスライムマイスター（個人）
鶴岡市立加茂水族館	県義務教育課
県産業科学館	県高校教育課
県立博物館	県環境科学研究センター
一般社団法人山形県発明協会	県工業技術センター
山形市理科教育センター	県農業総合研究センター
最上広域市町村圏事務組合教育研究センター	県工業戦略技術振興課（事務局）

以上、16 機関・団体・個人

- ・協議議題：① 各機関・団体が取り組む科学教育関係事業の計画・実施状況について
- ② 平成25年度「青少年のための科学の祭典」の実施について
- ③ 意見交換

○ サイエンス・ナビゲーターの派遣

子どもたちやその保護者等に科学技術に触れる機会を提供し、科学に対する関心を深めてもらうことを目的として、科学に関する知識や技能を有する人材を、地域で開催される科学教室の講師として派遣している。

サイエンス・ナビゲーターの派遣による教室開催実績の年次推移

※平成26年2月末日現在

項 目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
派遣件数	20	21	28	25	22	27	29	51	46
派遣者数	26	30	41	35	26	29	33	70	89
参加者数	1,392	2,397	2,834	2,594	1,532	1,892	2,495	3,789	4,238
うち子ども数	1,000	1,389	1,807	1,678	915	1,169	1,438	2,273	3,096
うち保護者等	392	1,008	1,027	916	617	723	1,057	1,516	1,142

- ・サイエンス・ナビゲーター登録者数は94名（平成26年2月末日現在）

○ サイエンス・ナビゲーターの活動を普及する場の提供

新たなサイエンス・ナビゲーター人材の登録促進とサイエンス・ナビゲーター派遣事業の紹介を目的として、公開型の科学実験教室を開催した。

- ・日 時：平成26年2月11(火・祝) 午前10時30分～午後2時30分
- ・場 所：イオンモール山形南1階センターコート (イベントスペース)
- ・参加対象：一般県民 (主に小学生とその保護者等)
- ・内 容：①サイエンス・ナビゲーターによる演示実験
②サイエンス・ナビゲーター及び科学教室サポーターによる科学実験指導
③参加者に対する事業資料 (チラシ) の配布及び説明

○ 夏休み親子科学教室の開催

将来の科学技術を担う青少年の創造性を育むとともに、県民に対する県試験研究機関への理解を深めることを目的として、県試験研究機関等において夏休み期間を利用し、小中学生とその保護者を対象とした科学教室を開催した。

夏休み親子科学教室の開催実績の年次推移

項 目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
開催機関数	17	17	16	16	16	14*	16	16	18
開催教室数	19	20	21	18	17	15*	17	17	18
参加者数	837	546	552	493	412	360	421	392	405
うち子供数	469	305	315	279	228	204	231	212	223
うち保護者等数	368	241	237	214	184	156	190	180	182

*H22年度は、宮崎県で発生した口蹄疫の影響で、畜産関係試験研究機関(畜産試験場・養豚試験場)及び養豚試験場と敷地を同じくする庄内産地研究室主催の教室が開催を辞退した

○ 科学教室サポーター養成講座の開催

高校生を対象として科学の知識や技能を習得し、それを科学教室のサポーターとして活かしてもらうための講座を開催した。

平成25年度 科学教室サポーター養成講座開催状況

	開催会場	開催期間	参加生徒	実験指導の支援を行った科学教室
1	鶴岡南高校	平成25年4月18日 ～11月17日 (計12回)	3名	11/17 科学まつり in 鶴岡 (鶴岡マリカ)
2	米沢市 理科研修センター	平成25年7月5日 ～10月13日 (計2回)	46名	10/12,13 生涯学習フェスティバル (米沢市営体育館)
3	山形大学 SCITA センター	平成25年7月28日 ～8月10日 (計3回)	5名	8/10 青少年のための科学の祭典 (霞城セントラルアトリウム)
4	甌葉プラザ	平成26年1月12日 ～2月11日 (計3回)	13名	2/11 ワクワク実験倶楽部 (イオンモール山形南)

○ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

将来の国際的な科学技術系人材の育成を図るため、理数系教育に関する研究開発を行う高等学校等をSSHに指定し、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施している。

平成25年度は、米沢興譲館高等学校、鶴岡南高等学校の2校において実施した。

（2）若手研究者等の育成、研究リーダーの発掘

○ 先端的研究機関への県試験研究機関の研究者の派遣

県試験研究機関の研究者を先端的な研究等を進めている機関に派遣し、研究機関機能強化の戦力となる人材を育成している。今年度は以下の機関へ派遣を行った。

- ・ 慶應義塾大学先端生命科学研究所への研究者派遣（1名）
- ・ 国立保健医療科学院主催の短期研修への研究者派遣（1名）
- ・ (独)産業技術総合研究所への研究者派遣（2名）
- ・ (独)農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所への研究者派遣（1名）
- ・ (独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所への研究者派遣（1名）